

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	公害苦情処理・相談事務			事業コード	1418
担当課等	所属名	環境部 環境企画課	担当係名		
	課長名	環境部 環境企画課	担当者名	環境部 環境企画課	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	環境との共生	コード 6	施策	生活環境の保全	コード 1
	基本事業	公害の防止	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 4款 1項 4目 公害防止対策事業(010-01)	
	特記事項					
事業期間	○ 単年度 ● 単年度繰返 ○ 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 昭和46年度～)		
事務事業の概要	公害苦情の申立を受け、現地を確認の上、必要な指導を行うとともに、関係者の調整を行う。					
根拠法令等	公害紛争処理法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
岩手国体を契機に市民の声を行政に反映させる機構への改革が行われ、当市においても公害が社会問題化したことから、昭和46年に公害係が発足した。(平成22年度 保全係と統合)						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
法令で規制がない事例についても指導が求められている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
平成7年から政令委任を受け、大気汚染・水質汚濁に関する業務が対象となった。また、平成14年に県条例が施行され、野外焼却が原則禁止されたことに伴う苦情相談が増えている。生活環境の変化に伴い、相談内容が多様化・複雑化している。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民 事業場	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 人口	単位	人
				B. 事業場数	単位	事業場
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 申立人から苦情や相談を受け、現地を確認の上、原因者に対して指導を行い、もしくは協力を求め、関係者の調整を図る。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 申立人から苦情や相談を受け、現地を確認の上、原因者に対して指導を行い、もしくは協力を求め、関係者の調整を図る。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 苦情相談件数	単位	件
				B. 現場確認件数	単位	件
				C. 指導件数	単位	件
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	市民が受けている公害等をできるだけ軽減し、市民が快適で安全な生活を送ることができるようにする。 発生源側に苦情原因の解消に努めさせる。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 苦情を申し出てきた市民の満足度(措置に納得した件数/苦情件数) 【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	%
				B. 解決した件数の比率(解決した件数/苦情件数) 【指標の性格:● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
				C. 【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	環境負荷が取り除かれる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	大気定点観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(単位:%) 水質の定点観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(単位:%) 騒音の定点観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(単位:%) 振動の定点観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(単位:%) 臭気の観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(単位:%)		

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 苦情原因を取り除くことにより、環境負荷が軽減する。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他 理由:
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 対象に向けて積極的に啓発を行うことにより、公害の未然防止を図ることができる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 法令に基づく事務事業であり、休廃止は不可能である。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 広聴広報課 市民相談事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 公害関係法令に基づく指導を行うため、専門的な知識に基づく対応が必要である。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 経常的な経費のみで実施している。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 他の業務を兼務しながら最小限の人員で対応している。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 全市民を対象に誰もが相談することが可能である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 法令に基づく事務事業であり、受益者負担は不相当である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 代替案その1 公害苦情の発生要因を分析し、公害防止意識の高揚を図る啓発を行う。 代替案その2 事業が長期化し解決策の見出せないケースについては、県公害審査会や公害等調整委員会による公害紛争処理を紹介する。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 啓発の手段によってはコストがかかるため、費用対効果の高い方法を選ばなければならない。また、軽微な事案でも過剰に反応するケースや他課が対応すべき事案が持ち込まれるケースが増え、結果として効率性が下がる可能性がある。 公害紛争処理制度が機能しておらず、解決策が見出せない事例がある。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>公害と思われる事例に関して、市民が過剰な反応を起こす傾向や困難な事案が増えてきており、適時適切な対応が求められている。</p>							
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容 適切な市民対応を含む現場主義の徹底が必要である。</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								